

11. 埼玉県 (Saitama Pref.)

作成者: 奥瀬 司¹⁾

作成日付: 2002年12月

今回 ランク	判定 方法	前回 ランク	種 名	現在も安定して発生している 産地 (市町村)	現在減少傾向にある産地 (市町村)	絶滅したと考えられる産地 (市町村)	衰退の経過	減少要因	備考(対策・文献など)
EX	ア	—	クロヒカゲモドキ	—	—	大滝村	1957年の三峰山(大滝村)での記録が唯一の記録	—	Insect Magazine, 43:33に記録あり
EX	ウ	—	コヒョウモンモドキ	—	—	大滝村	本県での確実な採集例は、1967年の中津川上流部(大滝村)での1例のみ	—	埼玉県動物誌(1978)に記録あり
EX	ア	EX	オオウラギンヒョウモン	—	—	浦和市, 東秩父村, 大滝村	本県では、1950年代までの記録しかない	草地管理形態の変化, 開発	寄せ蛾記, 66:1413-1423に、浦和市での記録あり
EX	ウ	EX	オオイチョモンジ	—	—	大滝村	1930年代に2個体, 1964年に1 が大滝村で採集されている	原生林の伐採?	埼玉県動物誌(1978)に記録あり
EX	ア	EX	キマダラルリツバメ	—	—	名郷(名栗村)	1954年の1例の記録のみ。関東地方の初記録	発生木の伐採?	Insect Magazine, 30:30に記録あり。低山帯での再発見の可能性はある
EX	ア	EX	シルビアシジミ	—	—	羽生市, 戸田市, 浦和市, 大宮市, 小川町, 寄居町, 深谷市, 本庄市, 飯能市, 秩父市	最後の生息地, 仁手(本庄市)では1980年代に絶滅	河川敷や土手の管理方法の変化	かつては低地の河川流域に産地が多かった
EX	ア	EX	アサマシジミ	—	—	小川町, 名栗村, 東秩父村, 秩父市, 皆野町, 小鹿野町	1977年6月の藁山(皆野町)での記録が最後	県内最大の発生地, 藁山(皆野町)では、サクラの植栽に伴う生息地の破壊	絶滅の過程については、昆虫と自然, 20(5):11-15に詳しく記してある
EX	ア	EX	ホシチャバネセセリ	—	—	飯能市, 小鹿野町, 都幾川村	低山帯から山地帯に、極めて局地的に生息していた。県内では1977年の都幾川村での記録が最後	ゴルフ場建設や宅地造成	飯能市では1953-1969年まで、生息が確認されていた
EX	ア	EX	アカセセリ	—	—	小川町, 秩父市, 小鹿野町, 大滝村	低山帯から山地帯にかけて、少数の採集記録があるが、1976年以降、県内での採集記録はない	山地草原の荒廃	山地草原の少ない県内では、絶滅してしまった可能性が高い
EN	オ	—	ヤマキチョウ	—	横瀬町, 大滝村	—	川口市, 浦和市には偶産と思われる記録がある。奥武蔵, 奥秩父でも記録は少ない	山地草原の荒廃	1980年代まで、奥武蔵では記録がある
EN	ク	—	キマダラモドキ	—	大滝村	—	1950年, 1954年, 1973年に大滝村で記録されているのみ	—	奥秩父で再発見される可能性はある
EN	ク	—	ヒョウモンチョウ	—	大滝村	—	大滝村栃本以外の記録は、山梨, 長野との県境にある山地草原からのもの	—	埼玉県側の奥秩父には、本種の生息に適した山地草原は極めて少ない
EN	オ	—	オオミスジ	—	児玉町, 皆野町, 秩父市, 小鹿野町, 大滝村	飯能市, 名栗村, 小川町, 寄居町, 長瀬町	1980年代から採集記録が減少	山地の集落の環境変化	—
EN	ク	EX	ウラジロミドリシジミ	—	都幾川村	小川町, 東秩父村	かつて奥武蔵の堂平山周辺や剣が峰で記録されたが、近年は採集記録がない	カシワ林の減少	県内では絶滅してしまった可能性があるが、越冬卵の探索が必要
EN	オ	E	クロシジミ	—	狭山市	春日部市, 宮代町, 蓮田市, 朝霞市, 大宮市, 川越市, 上尾市, 北本市, 所沢市, 入間市, 日高市, 小川町, 熊谷市, 川本町, 寄居町, 児玉町, 飯能市, 皆野町, 長瀬町	1960年代まで、平野部から低山帯にかけて局地的に多産した。1970年代初頭から県内全域で急激に減少し、1990年代には残存産地は狭山丘陵の一部だけになってしまった	雑木林の更新が成されなくなったこと。雑木林の宅地化	2002年の時点では、県内に確実に生息している場所はない
EN	ク	—	ヒメシジミ	—	大滝村	寄居町	大滝村には産地が局所的に存在する	山地草原の荒廃	山地草原の貧弱な本県では、本種は極めて稀
EN	オ	E	ミヤマシジミ	—	熊谷市, 江南町, 本庄市, 皆野町	神川町, 都幾川村, 長瀬町, 秩父市, 小鹿野町, 大滝村	1960年代から各地で急激に減少した	河川敷や土手の管理方法の変化, 河川周辺の開発	残存産地は荒川と利根川の中流域の一部のみ
EN	オ	R	コキマダラセセリ	—	横瀬町, 秩父市, 大滝村	小川町, 飯能市, 名栗村, 小鹿野町	低山帯では近年ほとんど採集記録がない	植林や、山地草原の荒廃	山地草原の少ない本県では産地は局限されている

11. 埼玉県 (Saitama Pref.)

作成者: 奥瀬 司¹⁾

作成日付: 2002年12月

今回 ランク	判定 方法	前回 ランク	種 名	現在も安定して発生している 産地 (市町村)	現在減少傾向にある産地 (市町村)	絶滅したと考えられる産地 (市町村)	衰退の経過	減少要因	備考(対策・文献など)
VU	カ	V	ツマグロキチョウ	—	三郷市, 久喜市, 北川辺町, 浦和市, 大宮市, 上尾市, 北本市, 所沢市, 入間市, 飯能市, 日高市, 滑川町, 本庄市, 児玉町, 寄居町, 皆野町, 横瀬町, 秩父市, 荒川村	春日部市, 宮代町, 幸手市, 川口市, 新座市, 志木市, 東松山市, 鶴ヶ島市, 狭山市, 小川町, 熊谷市, 神川町, 名栗村, 長瀬町	1976年頃までは県内各地で見られたが, 近年各地で顕著に減少している	生息地の宅地化, 河川環境の荒廃	2002年の時点では, 県内に確実に生息している場所はない
VU	カ	—	スジボソヤマキチョウ	秩父市, 大滝村	横瀬町, 皆野町, 児玉町, 両神村	小川町, 東秩父村, 寄居町, 長瀬町, 吉田町	1980年代から減少傾向にある	大滝村からの報告が県内の報告の大半を占めている	—
VU	カ	R	ウラギンシジウモン	大滝村	入間市, 鳩山町, 熊谷市, 小川町, 寄居町, 児玉町, 皆野町, 横瀬町, 秩父市	所沢市, 飯能市, 名栗村, 都幾川村, 長瀬町	1960年頃までは平野部でも見られたが, 近年は全く見られない。山地帯でも個体数は減少しつつある	草地管理形態の変化, 開発	草地の火入れや, 適度の草刈を行う必要がある
VU	カ	—	クモガタヒョウモン	—	入間市, 飯能市, 日高市, 名栗村, 嵐山町, 小川町, 東秩父村, 寄居町, 長瀬町, 皆野町, 児玉町, 神川町, 横瀬町, 秩父市, 大滝村	浦和市, 大宮市, 所沢市, 毛呂山町, 越生町, 神泉村, 吉田町, 荒川村	1970年代までは低地でも稀に記録されたが, 1980年代以降記録がない	草地管理形態の変化, 開発	低山帯を中心に分布する種で, 個体数は元々多くない
VU	カ	—	ウラギンヒョウモン	—	所沢市, 児玉町, 皆野町, 横瀬町, 秩父市, 大滝村	浦和市, 大宮市, 入間市, 狭山市, 飯能市, 名栗村, 都幾川村, 小川町, 東秩父村, 寄居町, 長瀬町, 荒川村	平野部でも1960年頃までは記録されたが, この40年ほどの間は記録がない	草地管理形態の変化, 開発	低山帯から亜高山帯に分布する種で, かつては個体数は多かった
VU	カ	V	ミスジチョウ	—	朝霞市, 所沢市, 入間市, 狭山市, 飯能市, 鳩山町, 長瀬町, 皆野町, 横瀬町, 秩父市, 荒川村, 小鹿野町, 大滝村	川口市, 浦和市, 与野市, 大宮市, 志木市, 川越市, 鶴ヶ島市, 名栗村, 都幾川村	1960年代までは平野部でも見られたが, 近年は極めて稀にしか見られない	林縁環境の変化, 雑木林の面積の縮小	丘陵地から低山帯にかけて広く分布しているが, 個体数は少ない
VU	カ	R	アサマイチモンジ	—	越谷市, 草加市, 春日部市, 宮代町, 岩槻市, 浦和市, 上尾市, 北本市, 桶川市, 所沢市, 入間市, 川越市, 日高市, 江南町, 児玉町など	吉川市, 幸手市, 狭山市, 飯能市, 都幾川村, 小川町, 横瀬町, 秩父市, 荒川村, 大滝村	1970年代から各地で急激に衰退に向かっている	林縁環境の変化, 雑木林の面積の縮小	2002年の時点で, 県内に確実に生息している場所はないかもしれない
VU	カ	V	オオムラサキ	嵐山町, 小川町, 秩父市, 大滝村	越谷市, 朝霞市, 所沢市, 入間市, 川越市, 日高市, 飯能市, 鳩山町, 東松山市, 吉見町, 滑川町, 寄居町, 長瀬町, 児玉町, 神泉村, 皆野町, 吉田町, 小鹿野町, 横瀬町, 荒川村	春日部市, 幸手市, 川口市, 浦和市, 大宮市, 新座市, 都幾川村, 熊谷市	大宮台地では1980年代に絶滅。丘陵地でも個体数は非常に少なくなっている	雑木林の荒廃, 雑木林の面積の縮小, 宅地化	嵐山町では1980年代に「オオムラサキの森づくり」がスタートし, 県や町の支援により「オオムラサキの森づくり協議会」に発展し, 活発に活動している
VU	カ	R	ウラゴマダラシジミ	吉見町, 所沢市, 入間市, 飯能市, 秩父市	朝霞市, 川越市, 狭山市, 日高市, 鶴ヶ島市, 北本市, 滑川町, 嵐山町, 江南町, 熊谷市, 寄居町, 長瀬町, 皆野町, 横瀬町, 荒川村, 小鹿野町	浦和市, 大宮市, 都幾川村, 小川町, 名栗村, 大滝村	平野部では絶滅してしまった産地が多い。県内全体でも減少傾向が著しい	雑木林の荒廃, 雑木林の面積の縮小, 宅地化	—
VU	コ	R	ムモンアカシジミ	—	大滝村	飯能市	大滝村ではかなり広範囲に記録されているが, 減少傾向にある	道路拡張工事による環境の悪化	—
VU	カ	R	ウラナミアカシジミ	所沢市, 入間市	浦和市, 岩槻市, 伊奈町, 上尾市, 北本市, 吉見町, 江南町, 嵐山町, 新座市, 富士見市, 大井町, 狭山市, 日高市, 毛呂山町, 児玉町, 皆野町, 横瀬町, 秩父市, 小鹿野町	川口市, 大宮市, 川越市, 飯能市, 都幾川村, 小川町, 長瀬町, 吉田町	低地から低山帯にかけて, かつては局地的に多産したが, 低地では1970年代に急減した	雑木林の荒廃, 雑木林の面積の縮小, 宅地化	雑木林の更新を行う必要がある

11. 埼玉県 (Saitama Pref.)

作成者: 奥瀬 司¹⁾

作成日付: 2002年12月

今回 ランク	判定 方法	前回 ランク	種 名	現在も安定して発生している 産地 (市町村)	現在減少傾向にある産地 (市町村)	絶滅したと考えられる産地 (市町村)	衰退の経過	減少要因	備考(対策・文献など)
VU	カ	R	オナガシジミ	大滝村	寄居町, 皆野町, 秩父市, 荒川村	小川町, 都幾川村, 横瀬町, 飯能市	県内での採集例は少ない	里山環境の悪化	沢沿いのオニグルミを保全する必要がある
VU	カ	V	ウスイロオナガシジミ	大滝村	都幾川村, 横瀬町, 吉田町	小川町, 東秩父村, 秩父市	1985年頃までの採集記録が多く, 近年の採集例は少ない	林の面積の縮小・道路建設	産地は局限されている
VU	カ	R	ハヤシミドリシジミ	横瀬町, 吉田町	都幾川村, 寄居町, 皆野町	小川町, 東秩父村	かつては堂平山周辺が多産地であったが, 近年個体数が激減した	カシワ林の減少・生息地の観光地化	カシワ林の保全が必要
VU	カ	—	スジグロチャバネセセリ	大滝村	鳩山町, 皆野町, 秩父市, 小鹿野町, 荒川村	日高市, 小川町, 両神村	低山帯上部から山地帯にかけて分布しているが, 個体数は少なく, 近年の採集例は少ない	山地草原の荒廃	—
VU	カ	—	ヘリグロチャバネセセリ	秩父市, 大滝村	都幾川村, 皆野町	小川町, 飯能市, 名栗村, 小鹿野町	低山帯上部から山地帯にかけて分布しているが, 個体数は少なく, 近年の採集例は少ない	山地草原の荒廃	—
VU	タ	—	オオチャバネセセリ	—	県内ほとんどの市町村	—	低地から山地帯にかけて広く分布し, 多産したが, 低地では1980年代後半から急減した	林縁環境の悪化? 雑木林の面積の縮小?	減少の原因は明らかではないが, 今後の個体数の動向には注意する必要がある
NT	キ	R	ジャノメチョウ	小鹿野町, 大滝村	杉戸町, 幸手市, 久喜市, 吉見町, 熊谷市, 江南町, 滑川町, 寄居町, 児玉町, 皆野町, 和光市, 朝霞市, 所沢市, 狭山市, 日高市, 飯能市, 鳩山町, 都幾川村, 横瀬町, 秩父市	春日部市, 浦和市, 大宮市, 北本市, 鶴ヶ島市, 入間市, 小川町, 東秩父村, 長瀬町, 名栗村	1970年以前には大宮台地, 比企丘陵, 狭山丘陵の林に隣接する草原に多産した。1970年代から台地では急減し, 浦和市では1973年の記録が, 北本市では1990年の記録が最後	雑木林の更新が成されなくなったこと・雑木林の宅地化	丘陵地から山地帯にかけては健在
NT	キ	R	ツマジロウラジャノメ	—	秩父市, 小鹿野町, 大滝村	横瀬町, 名栗村, 荒川村, 両神村	大滝村の中津川渓谷, 三峰山, 両神山などが多産地であったが, 現在では減少している	露岩地へのコンクリートの吹き付け	産地は局限されている
NT	キ	R	ウラジャノメ	秩父市, 大滝村	皆野町	両神村	—	林縁環境の悪化?	山地帯から亜高山帯にかけて局地的に生息する
NT	キ	—	メスグロヒョウモン	—	吉見町, 熊谷市, 江南町, 滑川町, 小川町, 寄居町, 長瀬町, 児玉町, 日高市, 飯能市, 横瀬町, 皆野町, 秩父市, 荒川村, 小鹿野町, 大滝村	川口市, 浦和市, 与野市, 大宮市, 所沢市, 入間市, 名栗村, 都幾川村, 東秩父村, 吉田町	1960年代半ばまでは大宮台地でも記録があったが, 近年は記録されていない	草地管理形態の変化, 開発	低山帯でも減少傾向にある
NT	キ	R	ヒオドシチョウ	—	八潮市, 越谷市, 春日部市, 騎西町, 浦和市, 大宮市, 上尾市, 北本市, 所沢市, 入間市, 飯能市, 吉見町, 名栗村, 横瀬町, 寄居町, 皆野町, 秩父市, 児玉町, 小鹿野町, 大滝村など	川口市, 東松山市, 熊谷市, 深谷市, 川本町, 神川町, 長瀬町, 小川町, 東秩父村, 都幾川村, 荒川村, 両神村	1980年代以降, 平野部では急速に観察例が減少している	雑木林の荒廃・雑木林の面積の縮小	平野部では春先の越冬後の個体と入梅前の羽化直後の個体だけが見られ, 夏季から秋季の観察例はない。山間部では夏季から秋季に成虫が観察されている
NT	キ	R	コムラサキ	秩父市, 小鹿野町, 大滝村	八潮市, 越谷市, 春日部市, 幸手市, 川口市, 浦和市, 大宮市, 上尾市, 北本市, 所沢市, 入間市, 川越市, 熊谷市, 寄居町, 飯能市, 児玉町, 皆野町, 横瀬町など	幸手市, 加須市, 小川町, 滑川町	平野部から山地帯にかけて広く分布し, 各地で減少傾向にある	河畔林の伐採	県内では加須市, 草加市, 川口市, 大滝村で黒色型(クロコムラサキ)が記録されている

11. 埼玉県 (Saitama Pref.)

作成者: 奥瀬 司¹⁾

作成日付: 2002年12月

今回 ランク	判定 方法	前回 ランク	種 名	現在も安定して発生している 産地 (市町村)	現在減少傾向にある産地 (市町村)	絶滅したと考えられる産地 (市町村)	衰退の経過	減少要因	備考(対策・文献など)
NT	キ	—	ウラクロシジミ	大滝村	飯能市, 名栗村, 横瀬町, 秩父市, 小鹿野町	都幾川村, 小川町, 東秩父村	奥武蔵において, 近年減少傾向にある	林の面積の縮小. 道路建設	産地は局地的で, 個体数は少ない
NT	キ	—	ミドリシジミ	—	三郷市, 八潮市, 越谷市, 春日部市, 川口市, 浦和市, 大宮市, 上尾市, 北本市, 吉見町, 戸田市, 所沢市, 入間市, 飯能市, 鶴ヶ島市, 横瀬町, 滑川町, 江南町, 児玉町, 両神町, 大滝村など	志木市, 熊谷市, 小川町, 長瀬町, 秩父市	ハンノキ林の減少に伴い, 発生地が減少しつつある	宅地開発などによる湿地の減少, ハンノキ群落の狭小化	平成3年に「埼玉県の県の蝶」に指定された
NT	キ	R	オオミドリシジミ	所沢市, 入間市, 飯能市, 狭山市, 日高市	上尾市, 伊奈町, 北本市, 吉見町, 川越市, 新座市, 三芳町, 川越市, 江南町, 滑川町, 児玉町, 長瀬町, 皆野町, 横瀬町, 秩父市, 小鹿野町, 大滝村	川口市, 浦和市, 大宮市, 熊谷市, 寄居町, 小川町, 東秩父村, 都幾川村, 両神村	大宮台地では1970年代から急速に減少している	雑木林の更新をしなくなったこと. 雑木林の面積の縮小	雑木林の更新を行う必要がある
NT	サ	E	ミヤマカラスシジミ	秩父市	横瀬町	大滝村	武甲山には多産した. 石灰岩の採取により生息地の一部が消失した	石灰岩の採取	—
NT	キ	R	コツバメ	所沢市, 入間市, 飯能市, 狭山市, 横瀬町	日高市, 北本市, 吉見町, 東松山市, 嵐山町, 江南町, 寄居町, 長瀬町, 児玉町, 皆野町, 秩父市, 荒川村, 小鹿野町, 大滝村	春日部市, 浦和市, 大宮市, 鴻巣市, 熊谷市, 小川町	大宮台地では1970年代に絶滅	雑木林の宅地化. 雑木林の荒廃	—
NT	ト	R	クロツバメシジミ	秩父市, 小鹿野町, 吉田町, 大滝村	長瀬町, 皆野町, 荒川村, 両神村	—	秩父山地の露岩地に, 局所的に生息する	コンクリ - トの吹き付けによる生息場所の消失	どの生息地でも個体数は少ない
NT	キ	R	ミヤマセセリ	吉見町, 滑川町, 江南町, 入間市, 飯能市, 名栗村, 横瀬町, 小川町, 長瀬町, 皆野町, 吉田町, 小鹿野町, 大滝村	岩槻市, 三芳町, 所沢市, 狭山市, 日高市, 鶴ヶ島市, 嵐山町, 寄居町, 児玉町, 秩父市	川口市, 浦和市, 与野市, 大宮市, 上尾市, 北本市, 春日部市, 熊谷市	かつては平野部でも多産した. 大宮台地では1970年代に急減し, 1988年5月の北本市での記録が最後	雑木林の更新をしなくなったこと. 雑木林の面積の縮小	丘陵や低山帯では, 現在でも普通に産する
NT	キ	R	ホソバセセリ	所沢市, 入間市, 飯能市, 横瀬町, 秩父市, 大滝村	吉見町, 江南町, 嵐山町, 狭山市, 日高市, 皆野町	浦和市, 北本市, 小川町, 寄居町, 川本町, 長瀬町	かつては低地でも局地的に生息していたが, 絶滅してしまった	雑木林の荒廃	低山帯の産地での個体数は少ない
DD	ネ	—	フタスジチョウ	大滝村	—	—	本県では大滝村からのみ記録されている	—	—
—	—	R	ジャコウアゲハ	秩父山地を除く全市町村	—	—	—	—	個体数の増減はあるが, 減少傾向にあるとは見なせない
—	—	R	オオウラギンスジヒョウモン	所沢市, 入間市, 飯能市, 日高市, 小川町, 寄居町, 長瀬町, 皆野町, 名栗村, 東秩父村, 横瀬町, 秩父市, 大滝村など	—	—	—	—	平野部においても減少しているとは見なせない
—	—	R	エルタテハ	両神村, 荒川村, 大滝村など	—	—	—	—	個体数が減少しているとは見なせない
—	—	R	キベリタテハ	荒川村, 大滝村	—	—	—	—	個体数が減少しているとは見なせない
—	—	EX	カラスシジミ	毛呂山町, 皆野町, 横瀬町, 吉田町, 小鹿野町, 荒川村, 大滝村	—	—	—	—	ハルニレの残存している地域から, 近年続々と新産地が発見された
—	—	R	キバナセセリ	小鹿野町, 大滝村	—	—	—	—	2000年に大滝村で多数の個体が記録された

1) 〒336-0976 埼玉県さいたま市緑区寺山806-1